



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <https://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,592	31.0	1,223	—	1,278	—	1,014	—
2020年3月期	8,084	△8.1	70	△35.0	101	△21.7	79	△11.7

(注) 包括利益 2021年3月期 1,094百万円 (—%) 2020年3月期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	555.97	—	37.7	17.9	11.5
2020年3月期	43.39	—	3.7	1.5	0.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	7,668	3,233	42.2	1,773.02
2020年3月期	6,648	2,139	32.2	1,172.72

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,233百万円 2020年3月期 2,139百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,097	△131	△771	2,522
2020年3月期	431	△97	△245	1,327

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期 末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	54	5.4	2.0
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		14.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	△23.7	200	△58.6	230	△54.9	160	△59.7	87.72
通期	7,200	△32.0	500	△59.1	550	△57.0	380	△62.5	208.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	1,862,254株	2020年3月期	1,862,254株
2021年3月期	38,507株	2020年3月期	38,242株
2021年3月期	1,823,904株	2020年3月期	1,824,122株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,064	37.0	689	—	730	—	546	—
2020年3月期	5,886	△8.3	15	△87.9	45	△68.8	23	△76.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	299.64	—
2020年3月期	12.76	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	6,275	2,618	41.7	1,435.85
2020年3月期	5,608	2,003	35.7	1,098.41

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,618百万円 2020年3月期 2,003百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化することにより経済活動が変動し、不透明な状況で推移いたしました。

建設業界関連におきましては、公共投資は底堅く概ね堅調に推移しておりますが、建設業界における労務単価、建設資材価格等の動向にも注視が必要な経営環境が依然として続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、東日本大震災の復興事業が収束する事業環境を乗り越え、新たな受注の獲得と利益向上へ取り組むと共に、合理化・効率化施策を継続実施してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、10,592百万円（前期比31.0%増）となりました。また、東日本大震災の復興事業に係る在庫商品等の評価損及び除却処分として120百万円を計上する一方で、収支改善への取組みを継続し、固定費は減少し、営業利益は1,223百万円（前期は70百万円の営業利益）、経常利益は1,278百万円（前期は101百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,014百万円（前期は79百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）と大幅な増収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①型枠貸与事業

前年度までの台風や集中豪雨による災害復旧工事の増加により、型枠貸与事業が拡大し、売上高は2,756百万円（前期比48.7%増）となり、営業利益は802百万円（前期比848.0%増）となりました。

②資材製品販売事業

災害に対応した河川用護岸ブロックの出荷が進捗し、その他のプレキャスト製品及び土木シート製品の出荷も増加し、売上高は7,835百万円（前期比25.7%増）となり、営業利益は420百万円（前期は13百万円の営業損失）となりました。

全体の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比(%)
売上高			
型枠貸与事業	1,853	2,756	48.7
資材・製品販売事業	6,230	7,835	25.7
計	8,084	10,592	31.0
営業利益又は 営業損失(△)			
型枠貸与事業	84	802	848.0
資材・製品販売事業	△13	420	—
計	70	1,223	—
経常利益	101	1,278	—
親会社株主に帰属する当期純利益	79	1,014	—
1株当たり当期純利益	43.39	555.97	—

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は7,668百万円となり、前連結会計年度末比1,020百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,195百万円、電子記録債権の増加278百万円、受取手形及び売掛金の増加202百万円、リース資産の増加123百万円、商品及び製品の減少714百万円等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は4,434百万円となり、前連結会計年度末比74百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金の減少450百万円、未払法人税の増加263百万円、未払金の増加92百万円等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,233百万円となり、前連結会計年度末比1,094百万円の増加となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等による利益剰余金の増加1,014百万円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,195百万円増加し、2,522百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,097百万円(前期は431百万円の収入)でした。主に税金等調整前当期純利益1,283百万円及びたな卸資産の減少729百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は131百万円(前期は97百万円の支出)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出272百万円及び保険金の解約による収入117百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は771百万円(前期は245百万円の支出)でした。主に短期借入による収入500百万円、短期借入金の返済による支出950百万円及び長期借入金の返済による支出243百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	33.7	23.2	29.6	32.2	42.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.0	32.9	24.3	18.4	52.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	169.7	426.7	259.5	340.7	43.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	33.6	29.0	31.5	40.6	190.5

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による影響は、ワクチン接種による感染症収束への期待と変異種による感染症拡大のリスクを抱え、先行き不透明な状況にありますものの、当社グループを取り巻く事業環境において限定的な範囲に留まると予測しております。

当社グループの主たる業務は、港湾、漁港、海岸、河川、砂防分野における波浪、地震、火山、豪雨、土砂災害等に対する緊急性の高い国の防災・減災対策事業に関わる事業であり、気候変動による自然災害の激甚化・頻発化に直面するなかで、持続可能な社会の実現に貢献していけるものと考えております。

当社グループは、既存事業の成長モデル再生へ企業体質の変換を引き続き進めて参ります。

次期の連結業績につきましては、2021年3月期に災害復旧事業が大幅に集中した反動を受け減少いたしますものの、安定した収益を確保することが出来ると判断し、型枠貸与事業の売上高は2,100百万円(前期比23.8%減)、資材・製品販売事業の売上高5,100百万円(前期比34.9%減)、全売上高7,200百万円(前期比32.0%減)を予想しております。これにより、営業利益500百万円(前期比59.1%減)、経常利益550百万円(前期比57.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益380百万円(前期比62.5%減)を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、業績及び先行きの見通し等を踏まえながら、内部留保とのバランスを考慮しつつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。安定配当に向けての経営基盤の拡充と持続的成長のための施策に取り組んでまいります。

当期の配当につきましては、1株当たりの期末配当金30円を予定しております。

また、次期の配当は、現時点では、一株当たり年30円(期末配当30円)とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮し、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,328,820	2,524,172
受取手形及び売掛金	2,816,729	3,019,464
電子記録債権	179,047	457,418
商品及び製品	987,712	272,844
原材料及び貯蔵品	27,412	12,978
その他	133,448	87,857
貸倒引当金	△8,723	△8,761
流動資産合計	5,464,448	6,365,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,204	141,909
減価償却累計額	△133,853	△120,330
建物及び構築物（純額）	28,350	21,578
鋼製型枠	7,996,359	7,997,944
減価償却累計額	△7,825,596	△7,858,757
鋼製型枠（純額）	170,762	139,187
機械装置及び運搬具	84,329	56,769
減価償却累計額	△78,045	△54,525
機械装置及び運搬具（純額）	6,283	2,244
土地	73,100	52,870
リース資産	181,824	310,980
減価償却累計額	△74,047	△79,576
リース資産（純額）	107,776	231,403
その他	58,546	57,683
減価償却累計額	△55,471	△55,155
その他（純額）	3,074	2,528
有形固定資産合計	389,348	449,812
無形固定資産	11,995	18,167
投資その他の資産		
投資有価証券	527,753	623,302
その他	442,122	359,554
貸倒引当金	△187,477	△148,330
投資その他の資産合計	782,398	834,525
固定資産合計	1,183,742	1,302,506
資産合計	6,648,190	7,668,482

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,338,890	2,407,875
短期借入金	450,000	—
1年内返済予定の長期借入金	243,994	195,983
未払金	147,990	240,048
リース債務	58,558	89,526
未払法人税等	14,620	278,502
その他	297,249	359,728
流動負債合計	3,551,303	3,571,665
固定負債		
長期借入金	663,483	467,500
リース債務	53,788	155,987
繰延税金負債	62,243	76,929
退職給付に係る負債	139,778	125,040
その他	38,543	37,811
固定負債合計	957,836	863,269
負債合計	4,509,139	4,434,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	598,662	1,612,705
自己株式	△65,256	△65,666
株主資本合計	2,079,524	3,093,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,526	140,388
その他の包括利益累計額合計	59,526	140,388
非支配株主持分	—	—
純資産合計	2,139,050	3,233,546
負債純資産合計	6,648,190	7,668,482

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,084,551	10,592,015
売上原価	6,528,364	7,973,007
売上総利益	1,556,187	2,619,007
販売費及び一般管理費	1,485,288	1,395,950
営業利益	70,898	1,223,056
営業外収益		
受取利息	117	152
受取配当金	31,471	24,929
貸倒引当金戻入額	—	8,553
たな卸資産処分益	3,621	4,067
為替差益	—	1,054
保険解約返戻金	3,949	25,560
雑収入	1,310	1,157
その他	4,322	2,272
営業外収益合計	44,791	67,748
営業外費用		
支払利息	8,900	9,525
支払手数料	500	—
手形売却損	1,164	1,391
為替差損	897	—
その他	2,434	921
営業外費用合計	13,896	11,838
経常利益	101,793	1,278,966
特別利益		
固定資産売却益	968	4,828
特別利益合計	968	4,828
特別損失		
固定資産処分損	22	453
固定資産売却損	3,385	—
特別損失合計	3,408	453
税金等調整前当期純利益	99,354	1,283,341
法人税、住民税及び事業税	23,691	269,297
法人税等合計	23,691	269,297
当期純利益	75,662	1,014,043
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△3,480	—
親会社株主に帰属する当期純利益	79,143	1,014,043

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	75,662	1,014,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106,163	80,862
その他の包括利益合計	△106,163	80,862
包括利益	△30,501	1,094,906
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△27,020	1,094,906
非支配株主に係る包括利益	△3,480	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,004,427	541,691	519,518	△65,037	2,000,600
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			79,143		79,143
自己株式の取得				△219	△219
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	79,143	△219	78,924
当期末残高	1,004,427	541,691	598,662	△65,256	2,079,524

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	165,689	165,689	3,480	2,169,771
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する当期純利益				79,143
自己株式の取得				△219
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△106,163	△106,163	△3,480	△109,644
当期変動額合計	△106,163	△106,163	△3,480	△30,720
当期末残高	59,526	59,526	—	2,139,050

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,004,427	541,691	598,662	△65,256	2,079,524
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,014,043		1,014,043
自己株式の取得				△410	△410
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,014,043	△410	1,013,633
当期末残高	1,004,427	541,691	1,612,705	△65,666	3,093,158

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	59,526	59,526	—	2,139,050
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する当期純利益				1,014,043
自己株式の取得				△410
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	80,862	80,862	—	80,862
当期変動額合計	80,862	80,862	—	1,094,495
当期末残高	140,388	140,388	—	3,233,546

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	99,354	1,283,341
減価償却費	222,161	287,685
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,665	△39,109
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,046	△14,737
受取利息及び受取配当金	△31,588	△25,081
支払利息	10,681	9,525
固定資産処分損益(△は益)	22	453
固定資産売却損益(△は益)	2,417	△4,828
為替差損益(△は益)	337	△1,054
売上債権の増減額(△は増加)	684,625	△460,770
たな卸資産の増減額(△は増加)	85,701	729,950
仕入債務の増減額(△は減少)	△538,368	176,276
未払又は未収消費税等の増減額	△35,303	196,665
その他	△28,024	△45,231
小計	468,634	2,093,085
利息及び配当金の受取額	27,059	26,254
利息の支払額	△10,626	△11,007
法人税等の支払額	△56,462	△20,330
法人税等の還付額	2,869	9,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	431,475	2,097,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
定期預金の払戻による収入	—	1,800
有形固定資産の取得による支出	△72,436	△272,159
有形固定資産の売却による収入	1,318	32,293
投資有価証券の取得による支出	△23,780	—
保険積立金の解約による収入	—	117,161
その他	△327	△8,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,025	△131,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,240,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△2,540,000	△950,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△168,330	△243,994
自己株式の取得による支出	△219	△410
リース債務の返済による支出	△76,275	△77,010
配当金の支払額	△300	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,125	△771,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△328	1,045
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88,996	1,195,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,024	1,327,020
現金及び現金同等物の期末残高	1,327,020	2,522,372

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業区分は、製品およびサービスの販売方法の類似性から「型枠貸与事業」と「資材・製品販売事業」の2区分であります。これは、当社グループにおける事業の実態をより適切に反映し、セグメント情報の有効性を高めるものであります。「型枠貸与事業」は、主に消波根固ブロックの製造用鋼製型枠の貸与であります。「資材・製品販売事業」は、工場で製造した護岸ブロック等のコンクリート二次製品、連結した自然石製品、吸出防止、洗掘防止、遮水等の土木シート製品等の販売であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,853,770	6,230,781	8,084,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,853,770	6,230,781	8,084,551
セグメント利益又は損失(△)	84,656	△13,758	70,898
セグメント資産	1,012,436	3,527,469	4,539,906
その他の項目			
減価償却費	191,244	27,370	218,614
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	73,305	150,072	223,377

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,756,886	7,835,128	10,592,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,756,886	7,835,128	10,592,015
セグメント利益	802,559	420,496	1,223,056
セグメント資産	1,216,587	3,170,212	4,386,800
その他の項目			
減価償却費	272,517	13,181	285,698
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	225,080	157,670	382,751

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(差異調整に関する事項)

利益又は損失	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメント計 (千円)	70,898	1,223,056
セグメント間取引消去 (千円)	—	—
連結財務諸表の営業利益 (千円)	70,898	1,223,056

資産	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメント計 (千円)	4,539,906	4,375,440
全社資産 (千円) (注)	2,108,284	3,293,041
連結財務諸表の資産の合計 (千円)	6,648,190	7,668,482

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)および管理部門に係る資産等であります。

減価償却費	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメント計 (千円)	218,614	285,698
全社減価償却費 (千円) (注)	3,546	1,986
連結財務諸表の減価償却費の合計 (千円)	222,161	287,685

(注) 全社減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない建物及び構築物等の減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメント計 (千円)	223,377	382,751
全社有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (千円) (注)	—	—
連結財務諸表の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の合計 (千円)	223,377	382,751

(注) 全社有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、主に報告セグメントに帰属しない土地、建物及び構築物等の増加額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

	型枠貸与事業(千円)	資材・製品販売事業(千円)	合計(千円)
外部顧客への売上高	1,853,770	6,230,781	8,084,551

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

	型枠貸与事業(千円)	資材・製品販売事業(千円)	合計(千円)
外部顧客への売上高	2,756,886	7,835,128	10,592,015

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額および未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,172.72円	1,773.02円
1株当たり当期純利益	43.39円	555.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	79,143	1,014,043
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	79,143	1,014,043
期中平均株式数(株)	1,824,122	1,823,904

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

- ① 代表取締役の変動
該当事項はありません。

- ② その他の役員の変動
新任取締役候補
社外取締役 金木 誠

退任予定取締役
社外取締役 吉本 俊裕

- ③ 就任および退任予定日
2021年6月29日